

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)		1,000,110 円	1,000,507 円	1,005,752 円				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	500,000 円	500,000 円	500,000 円				
	一般財源	500,110 円	500,507 円	505,752 円				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	会場内での体験者数(有料)	実際に波佐見焼に触れることによる、口コミでの拡散。	回	目標		200	250
					実績		300	300
					目標達成率(%)		150	120
	②	会場内でのパンフレット配布数	「波佐見」という名前の浸透	枚	目標	600	800	1000
					実績	1000	1100	1100
					目標達成率(%)	166	137	110

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 徐々に波佐見焼や波佐見町の知名度が向上してきているが、これは首都圏での催事や、このような世界的な催事等でのPRの積み重ねによるところが大きいため、この流れを止めるわけには行かない。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		会場での積極的な呼びかけ、波佐見焼の魅力、これからの観光スポットとしての期待感があったから。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
実施予定 期 日			
有効性の点検	(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)
	<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はない		・東京ドームテーブルウェアフェスティバル ・テーブルウェアエキスポ 東京での催事は各種あるが、旅行者や観光エンドユーザーを対象とした催事は他にない。
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		伝統工芸士による実演やネックレス体験などは波佐見町観光協会や波佐見陶磁器工業協同組合などに委託する余地はある。
効率性の点検	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		観光事業による直接的収益確保が困難であり、助成金による事業展開に頼らず得ない。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input checked="" type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input type="checkbox"/> 現状維持
	実施(予定)時期	H30			
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	実施予定時期				
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	実施予定時期				
具体的内容	年々認知度の向上を実感しており、首都圏での知名度向上・交流人口の拡大・高まるインバウンド需要などを考えると、この流れを止めるわけにはいかず、事業継続が望ましい。しかしながら直接的収益が少なく、財源の確保が困難な状況であるので、数年に一度のペースでも出展を継続させていきたいと考える。				